

# 決算審査の概要



長寿命化改修工事を完了した黒浜中学校東校舎

今定例会では、令和3年度決算認定議案8件の審査を各常任委員会に付託して行いました。

予算の執行が法令に基づいて、合理的・能率的・効果的に執行されたが、また、公共の福祉向上に寄与したかなどを主眼に審査したところ、来年度予算編成に向けて、各委員会の委員より次のとおり指摘・要望事項がありました。

## 【指摘・要望事項】

### 総務委員会

- ① 国の責任において地方交付税の財源確保について国に求めることも、臨時財政対策債たのみとならないように起債計画を立てること。
- ② ふるさと納税については、蓮田の魅力を生かして、蓮田に納税してもらえそうな仕組みづくりをすること。
- ③ シティセールスについては、事業の推進に向けて外部のセミナーを受けるなど、

### 民生文教委員会

- ① 効果的な活動ができるようにすること。
- ② BizFAXの周知については、必要な方に届くよう工夫を行うこと。
- ③ 職員採用における障がい者雇用については、法定雇用率を満たすよう積極的に進め、募集要項も分かりやすく工夫すること。
- ④ 市税等の納付業務においては、必要に応じて生活保護等の相談につなげるなどの連携を図ること。
- ⑤ 職員が扱うOA機器については、できる限りスペックが落ちたものでないようすること。
- ⑥ 新型コロナウイルス感染症の収束に至った際には、地域敬老会を再開すること。
- ⑦ がん検診については、本人の希望によってバリウム検査と胃カメラ検査のどちらも選ぶことができる体制を検討すること。
- ⑧ 老人福祉センターのバス停については、利用者が使用しやすい場所への移動を検討すること。
- ⑨ 国民健康保険特別会計に一般会計からの法定外繰入れを増やすこと。
- ⑩ 国保年金課高齢者医療担当については、適正な人員配置をするなど、適切なサービスが維持できるように引き続き努めること。
- ⑪ 給食食材の放射能検査を、引き続き行うこと。
- ⑫ ファミリー・サポート・センターの協力会員については、広報等で周知をするなど積極的な募集を行う工夫をすること。

### 建設経済委員会

- ① 黒浜緑地整備については、安全性だけでなく、緑地保全の観点をもつ専門家を入れて整備事業にいかすこと。
- ② 新たな雇用機会の創出につながる創業支援事業については、予算の拡充を図ること。
- ③ 農業振興や市民の農業に対する理解促進のため、市ホームページの更なる充実を図ること。
- ④ 道路の小規模修繕に当たっては、他市でも実施している様な民間事業者への包括的な委託を行うことにより、行政の効率化を図ること。
- ⑤ 立地適正化計画については、蓮田市の特色を勘案し、機械的な施設集約等をせずに計画的に誘導を図ること。
- ⑥ 空き家対策事業促進のため、市民等が空き家を気軽に活用できるような仕組み作り等について、庁内関係各課と調整し推進すること。
- ⑦ 東日本大震災の東京電力福島第一原発事故の影響による水道水検査費用は、東京電力に対して引き続き全額請求すること。

### 反対討論

主な理由9点により、令和3年度蓮田市一般会計歳入歳出決算に反対

以下主な理由9点により、日本共産党は反対します。

議案第56号 令和3年度蓮田市一般会計歳入歳出決算認定について

①国保特会への法定外繰入金2千万円減額で負担軽減に逆行。

②マイナンバー制度関連予算は国民への徴税強化・給付削減につながる。

③正規保育士の登用を増やすべき。

④学童保育所は公的責任で堅持・拡充すべき。

⑤既に目標達成のはずだっ子ペンの達人予算は他事業にあてるべき。

⑥課題の多い小・中学校水泳民間連携は見直すべき。

⑦国が特別対策を終結した同和事業への支出はやめるべき。

⑧生活道路改良重点整備の増額と道路改良率の向上を求める。

⑨住民の意向をふまえ、安全と緑地保全の両立を図った黒浜緑地整備を求める。

**議案第57号** 令和3年度蓮田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

**反対討論**  
**法定外繰入を減額すべきでない**

国保は、憲法25条に基づいて、病気になった時に誰もが安心して医療が受けられる社会保障制度としての位置づけがあり、国民皆保険制度を下支えするものである。本来なら国がさらなる公費投入すべきだが、今の政権は行っていない。国の基準では、子育て施策や保健事業費については認められている。

市が市民の健康を守るために必要性を認識し、法定外繰入を減額ではなく、今後この姿勢を崩すべきでないことを求めて、

日本共産党は反対する。

**賛成討論**  
**法定外繰入金解消に向けて事業の推進を**

埼玉県の考えとして国と同様政策による繰入金を含めて、法定外繰入金を解消していくべきものと定めており、法定外繰入金を増額することは、のちに県内統一税率となった際に、蓮田市独自の事業を展開した場合様々なリスクや影響が考えられる。はずだ政和会としては、国・県の方向性にならってこれまで通り法定外繰入金金の解消に向けて事業を推進することを強く求め、賛成討論とする。

**議案第58号** 令和3年度蓮田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

**反対討論**  
**憲法25条の生存権を踏みこじめるな**

後期高齢者制度は、75歳以上の人を国保や健保から切り離し、高齢者だけの医療保険にして、負担増と差別医療を強いる世界でも異例の医療制度である。2年ごとの保険料の見直しで、保険料の引き上げが続いている。75歳以上の人口が増えれば自動的に値上がりする制度になっている。日本共産党は、憲法25条の生存権、憲法14条の「法の下平等」を踏みこじめる後期高齢者医療制度は、撤廃するしかないと考え反対する。

**議案第59号** 令和3年度蓮田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

**反対討論**  
**必要な人が必要な介護を受けられるように**

介護保険制度は、介護を社会全体で支えることを目的に導入された。政府は、制度改悪を繰返して来た。要支援1・2の人を保険給付から外したり、特別養護老人ホーム入所を原則要介護3以上としたりして利用者負担を所得によって2割負担にし、低所得者の施設利用者の居住費・食費の捕捉給付の削減をしたりした。国庫負担は増やさずに市民に大幅な負担増を押し付ける介護保険制度に日本共産党は反対し、議案第59号に反対する。

**議案第62号** 令和3年度蓮田市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

**反対討論**  
**剰余金を活用して水道料金の負担軽減継続を**

令和3年度の未処分利益剰余金3億310万5594円のうち1億8585万5396円を資本金へ組み入れたが、この分を固定資産と見比べたときに、令和3年度減価償却分約2億6700万円を上回るほどの工事は実施されておらず、固定資産が大幅に増えてはいないととれる。そうならば、資本金への組み入れはせず、物価高騰に苦しめられている市民のために水道料金減額措置を継続すべきと考え、日本共産党は反対する。

### 議会の傍聴ができます

市議会の本会議は、一般に公開されていて、傍聴することができます。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

#### ●車いすでの傍聴ができます

市議会の議場には、車いす用の傍聴スペースが用意してあります。



#### ●手話通訳者について

議会を傍聴する際に、手話通訳者を希望される場合は、事前に議会事務局までご連絡ください。



#### ●議会中継について

本会議は、インターネットによるライブ中継並びに録画映像の視聴が可能です。

※市議会では新型コロナウイルス感染症防止のため、傍聴に際してはマスク着用及び手指の消毒の徹底をお願いするとともに、一部の傍聴席を使用禁止にするなどの対策に努めています。